



感謝を伝え、
自分を見つめ
直す機会に

実行委員長
おぐらりょうたろう
小倉峻太郎さん
(穂高東中卒)

成人式は人生に一度しかないと思い、実行委員長にチャレンジしてみようと思いました。最初は、成人式のテーマ（方向性）がなかなか決まらず、議論が白熱しました。成人式を成功させるために意欲・責任感のある委員が集まり、さまざまな意見を聞き、話し合うことができたのは貴重な経験です。式を企画する側の大変さを知り、行事を主体的に見ることで成人式を行う意味を考えることができました。

テーマ「NO, PERFECT HUMAN ~我が道を行く~」には、「成人」イコール「完璧な人間になる」ということより、成人式という節目の行事を通じ、家族や周りの人たちへの感謝の気持ちを伝えたり、自分を見つめ直したりする機会となればよいという思いを込めました。少しでも完璧な大人に近づくために新成人それぞれが自分にできることや足りない部分を考えるきっかけになればよいと思っています。

安曇野の明日を担う世代が参加し行動することで、活力あるまちづくりにつながっていきます。

二十歳の今 そしてこれから

若いなりの力
で地域に貢献
していきたい

実行委員
しおはら さ や
塩原咲耶さん
(三郷中卒)



安曇野を離れ、県外に出たことで、北アルプスや田園などの風景、きれいな水や空気、おいしいお米や野菜のありがたさに気づき、たくさんの自然の恵みももらっていたと感じました。安曇野は県外に行っても、名前を知っている人が多く、ブランド価値があると思います。その価値を有効に使い、若い人たちが訪れたい、若者のアイデアが活かされる地域づくりができるまちになって欲しいです。

私は、現在、音楽大学に進学し、仲間たちと楽しみながら学んでいます。音楽教師を目指していますが、広い視野で音楽に触れ、大学で学んだことを地域に還元したいです。安曇野は芸術文化にも長けているまちだと思います。将来は安曇野に戻り、地域の活動に積極的に参加し、若いなりの力で地域に貢献していきたいです。

活力あるまちづくりへ 若者の「力」を

総務省統計局によると平成29年の全国の新成人は、前年比2万人増の123万人。総人口に占める割合は0.97%となっています。少子高齢化による人口減少や、昨年には、選挙年齢が20歳から18歳に引き下げられ、次代を担う若者には、期待と大人としての責任や自覚が求められています。成人式では、新成人が支えてくれた人への感謝とふるさとへの良さを再認識し、それぞれが、理想の自分を求め努力していく決意を表明する場となりました。

式の企画・運営に携わった実行委員会(18人)の代表者2人に話を聞きました。

二十歳の思い



あさかわ まなえ
浅川真奈絵さん
(豊科北中卒・諏訪市)

きれいな水や北アルプスなど自然環境が美しく、地域や人のつながりのある温かいまちだと思います。交通に不便な点があるので、電車やバスなど公共交通機関が充実すればさらに住みよい地域になると思います。

成人式を迎えてふるさとと安曇野への思いや、これからのまちづくり、今の気持ちをひと言で表してもらいました。



みやざわ ゆうすけ
宮澤祐介さん
(豊科北中卒・山梨県)

Uターン、Iターンなどで安曇野に人を呼び込むことができればいいと思います。とても過ごしやすい場所だと思うので、実際に住んでいる人の声を発信することで、住んでみたいと思ってもらえるように宣伝することが大切だと思います。

■成人式を迎えてひと言

